



気を付けて 電気の火災



電気製品は大変便利であり、私たちの生活に欠かせないものとなっています。しかし、誤った使用方法や不注意により火災となる場合があります。各ご家庭や職場で、次のことを確認してみましょう！

1. コンセント付近を確認！

コンセントプラグとコンセントの間にホコリが溜まると、湿気等でホコリに水分が付着し、プラグ両刃間に通電して出火することがあります。これを「トラッキング現象」と呼び、電気火災の原因として取り上げられることも少なくありません。コンセント付近は清潔に保つよう定期的に清掃し、プラグは奥までしっかり差し込みましょう。



2. 使用配線の確認！

様々な電気製品が普及し、使用する機器に対しコンセントが不足して、たこ足配線になりがちではないでしょうか。電気の許容量を超えて使用すると、コンセントが過熱し、火災の原因となりますので絶対にやめましょう。

3. 電源コードの確認！

傷ついたコードを使用したり、束ねた状態やコードの上に家具等の重い荷物が乗った状態にあると、その部分に負荷がかかり断線して出火する可能性があります。傷ついたコードは早めに交換し、コードの上に重いものを載せたり、束ねた状態での使用はやめましょう。



これら以外にも、使用しない機器は電源を切るだけでなく、プラグをコンセントから抜いておきましょう。また、季節を限定して使用する電気ストーブや扇風機は使用前に必ず点検し、異常に気付いた時は使用を止め専門業者に点検してもらいましょう。

【問合先】

釧路市消防本部予防課予防広報担当

電話：0154-23-0426